

令和7年度 第3回 向日市社会教育委員の会議	
日 時	令和7年11月19日(水) 午前10時～正午
場 所	文化資料館、 永守重信市民会館
出席委員	高畑委員長、河村委員、田賀委員、谷村委員、詫間委員、横田委員、淀野委員
欠席委員	植田委員、池田委員、田邊委員、中西委員、吉岡委員
事 務 局	小畑生涯学習課長、芦田担当課長、 (公財) 京都府埋蔵文化財調査研究センター肥後課長補佐、 (公財) 向日市埋蔵文化財センター梅本事務局長
内 容	1 研 修 (1) 展覧会「古代のくらし」見学 (2) 講義「向日市埋蔵文化財センターの業務と向日市の埋蔵文化財」 2 報 告 (1) 近畿地区教育研究大会(和歌山大会)について (2) 人権研修会Ⅰ (3) 人権研修会Ⅱ 社会教育活動実践交流フォーラム・令和7年度京都府社会教育研究大会
委員	【開 会】 1 研 修 (1) 展覧会「古代のくらし」見学 解説者：(公財) 京都府埋蔵文化財調査研究センター 肥後課長補佐 場 所：文化資料館 (2) 講義「向日市埋蔵文化財センターの業務と向日市の埋蔵文化財」 場所：永守重信市民会館 第2会議室 ○生涯学習課 課長あいさつ ○委員長あいさつ ○講師：(公財) 向日市埋蔵文化財センター 梅本事務局長 —質疑応答— 向日市埋蔵文化センターの課題は何か。
講師	センターの継承。どう人材を育成していくか、技術継承、発展などを念頭に置きながら将来につなげていくことが課題である。

委員	なり手はなかなかいないのか。
講師	発掘調査をする技術を持つ者がなかなかいない。以前は発掘の現場を観る者は多かった。今は、大卒の人材確保は難しい。就職してから現場で、経験をつんでいくことになる。現状に見合った形で技術継承をしていくことが一番の課題である。
生涯学習課員	<p>2 報 告</p> <p>(1) 近畿地区教育研究大会(和歌山大会)について 9月5日に和歌山県民文化会館で開催予定だったが、台風15号の接近により中止となった。</p> <p>(2) 「人権研修会Ⅰ」(8月29日開催) 演題「現代社会における部落差別の変容とインターネット」 ー参加した感想・意見の交流ー</p>
委員	差別を解消していく上で、マイノリティの方々の理解をすること、他者を理解することが大事だと思った。例えば、左利きの方もマイノリティである。生活の中でしづらさを感じることがあると思う。そういうことへの理解が大切だと思った。
委員	<p>講演の中で右利き用に作られている物が多い等の例を挙げられ、社会のしくみの中に差別が組み込まれていることを話されたのが印象に残った。</p> <p>人に対する差別は教育や啓発で減ってきているが土地に対する差別については意識していなかったことに気づいた。</p>
生涯学習課員	<p>(3) 連 絡</p> <p>・「人権研修会Ⅱ」(12月4日開催) 演題「インターネットと人権～加害者にも被害者にもならないために～」</p> <p>・「社会教育活動実践交流フォーラム・令和7年度京都府社会教育研究大会(京田辺)」(11月21日開催)</p> <p>【閉 会】</p>